

事務的な会話引き延ばし君の声吸ひ込んでゐる耳いつぱいに

15

銀色の雨が小さな思ひ出を塗りつぶしてゆく君の居た街

3

君かへす朝の舗石さくさくと雪よ林檎の香のごとくふれ

2

君と見て一期いちごの別れする時もダリヤは紅あかしダリヤは紅あかし

0

観覧車回れよ回れ想ひ出は君には一日ひつひ我には一生ひつしよ

18

たとへば君 ガサツと落葉すくふやうに私をさらつて行つてはくれぬか

5

空の青海のあおさのその間あわいサーフボードの君を見つめる

1

やは肌にあつき血汐にふれも見でさびしからずや道を説く君

0

砂山の砂に腹はら這ひひ初恋のいたみを遠くおもひ出いづる日

2

菅の根のながき春日もあるものをみじかかりける君ぞ悲しき

3